(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和4年10月21日　　企業･団体名：株式会社ワンベスト

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		･採用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築する。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		･ハラスメントを禁止する旨の就業規則は基より、研修会などの実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		･業務の効率化を図り、労働時間の短縮や、働き方改革の取り組みにおいテレワークの実施など、積極的に行う								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		･外国人労働者への労働環境など必要な条件を整えるために、交流会、意見交換会などへの参加する				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		･社員向けの労働安全衛生講習会の実施			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		･メンタルヘルスに関する方針と計画の策定 ･メンタルヘルスに対応した休職規定などの整備			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		･多様な人材が活躍できる社内制度を設ける ･障がいの種類や程度に応じた安全管理や安全確保のための整備、職場環境の改善を行う ･製品やサービス及び施設などについて、ユニバーサルデザインを考慮する ･高齢者疑似体験などの研修により、執務環境の見直しや、段差解消などの改善を行う。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		･研修体制の強化を行くべく、整備、自ら向上心を持ち学ぶ環境の充実を図る ･職場環境の充実や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施し管理職を育成する体制づくり				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		･働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員の正当な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	･高知県健康パスポート事業の活用。健康増進への取り組みを促進している ･人間ドック、各種予防接種に関する経費補助を行っている。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	･時差出勤、在宅勤務(テレワーク)を導入するなど、新しい働き方に対する取り組みを行っている。 ･Web会議を積極的に取り入れている。 ･対面での打ち合わせについては換気を行い、マスク着用の徹底を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	･事業戦略や経営計画などにおいて、デジタル化の取り組みを行っている。 ･社内におけるIT人材の育成を進めている。 ･プラットフォームを活用した付加価値の高いサービスを開発している。 ･会議資料やカタログなどの電子化を進めている。								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ･廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		･廃棄物削減のための方針をや計画を策定する(令和3年～令和4年)											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ･電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		･エネルギー使用量を算出しており、オフィスの節電に取り組んでいる							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ･自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		･社用車のEV化の推進 ･クールビズ、ウオームビズに取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・法令で規制されている有害物質の把握をし、削減のための計画を策定する（令和3年～令和4年）			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に努めている。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供に努めている。 ・事業活動や従業員の行動において、プラスチックやレジ袋などの使用削減に努めるよう社員教育を徹底している。												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、CO2削減関わる計画を立てている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・自社の水利用状況を把握し、使用量削減などの計画を策定している ・社員一人一人が節水を心掛ける行動をしている。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	・エコアクション21の取得を目指す			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・自社HPにて環境情報の公開や、環境報告を行う												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・自社のでの電気使用量の把握を行い、必要であれば、節電システム（太陽光パネルや蓄電の導入を行う。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・認証製品（森林、パーム油、ゴム、コーヒー等プランテーションより生産された原材料、天然水産物及び養殖水産物）を利用している。 ・合法材を使用しているか確認している。												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・規格外や未利用の農林水産物を有効活用している。 ・外食産業においてテイクアウトの対応を行っている。 ・フードバンク活動を行う団体と連携し、未利用食品の提供を行っている。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職、贈収賄禁止などを含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・不公正競争行為の禁止を含む行動規範を整備している。 ・仕入れ先に対して不当な値引きや圧力がないかチェックしている。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・知的財産に関する研修を行い、侵害防止に対する取り組みを行っている								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、体制を整備している。 ・研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底している。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・取引先の活動に関心を持ち、対話を通じ、人権侵害の防止や環境保護等の取り組み状況を確認している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しとして対策を実施している。 ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱い説明書を作成している。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・顧客の声を共有するための基本方針、体制、ルール作りを策定し、研修を実施している。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・再生用紙利用を推進している。 ・グリーン製品の購入を行っている。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・森林レクリエーション活動を実施する予定						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・特定の社会課題解決をテーマとしたサービスの展開を予定している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域との対話、現状の把握を行い、対話に基づき事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・地域の防災活動に参画している。 ・地域の次世代を担う人材（学生や子ども）との交流を積極的に行っている。 ・四万十市一斉清掃活動に参加している。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・生産者や加工業者などとの連携を図り、県産原材料の優先的利用を促進し、地産地商及び地産外商を推進している。 ・【予定】令和3年12月までに、県産の原材料の優先的促進をする。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・法令遵守（コンプライアンス）も重要性について、全従業員に定期的な研修も行い啓発、徹底を図っている。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・担当者、又は責任者を任命している																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー） ※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・定期的なアンケートを実施し、その回答を公表するなど、顧客の声を（特に苦情）を大事にし、双方向のコミュニケーションに努めている。 ・取引先や行政機関など、利害関係者（ステークホルダー）と連携した取り組みを進めている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・法令順守（コンプライアンス）の方針、手順などの体制が整備されている ・内部通報制度（匿名性の保護）が整備されている。 ・社外直通窓口も今後整備にむけて検討する																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・リスクマップなどを活用し、リスクの洗い出し、評価を行ったうえでの、適切な対策を講じている。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・CSR方針を索敵し、HPで取り組みを公表する整備を行う																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・南海トラフ地震に備え、年に2度の訓練と、避難道の確認。備蓄の確認を行っている。 ・BCP策定に関しては今後の検討を行う									9		11		13 13.1			16	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の指導、育成に取り組んでいる。								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・定期的な避難訓練行っている。 ・事業所において食料の備蓄を行っている。 ・従業員にハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・自主防災組織と連携した避難訓練の実施計画を予定している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・顧客や従業員、地域の子どもなどに対して、SDGsの普及啓発や教育機会の計画をしている。 ・社内でSDGへの意識が浸透するよう勉強会を行う	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・新規学卒者の採用に向けて、高校生や大学生のインターンシッ積極的に受け入れる体制作り。 ・地元の学生を積極的に雇用する				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・中山間地域の素材を活用した加工品作りを行っている。 ・中山間地域での移動販売を行っている。 ・中山間地域での観光商品つくりを検討している。								8	9		11						